

近畿地方小委員会の概要と意見

□開催日時

平成27年3月4日（水）16:00～17:30

□場所

近畿地方整備局 第1別館3階 第四会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづか あつし 飯塚 敦	神戸大学 自然科学系先端融合研究環 都市安全研究センター 教授	○
うの のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学経営管理大学院 准教授	
うらお たか子 浦尾 たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役	○
かわもと よしみ 川本 義海	福井大学大学院工学研究科 准教授	○
こばやし きよし 小林 潔司	京都大学経営管理大学院 教授	
たまおか かおる 玉岡 かおる	作家 兵庫県教育委員	
まきむら ひさこ 槇村 久子	京都女子大学宗教・文化研究所 客員研究員	○
むねた よしゆみ 宗田 好史	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授	
【委員長】 やました あつし 山下 淳	関西学院大学法学部 教授	○

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道158号（中部縦貫自動車道）大野油坂道路（大野・大野東区間）
- 一般国道161号 湖西道路（真野～坂本北）
- 一般国道312号 大宮峰山道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道158号（中部縦貫自動車道）大野油坂道路（大野・大野東区間）】

- 首都圏、中部圏へのアクセスが強化され、人や物の流れを支えるネットワークとして意義がある。
- 観光客に足を伸ばしてもらうためにも中部縦貫が果たす役割は大きい。
- 広域の効果だけでなく、医療施設へのアクセス性向上など、地元住民の安全・安心向上にも寄与する道路であり、重要。

【一般国道161号 湖西道路（真野～坂本北）】

- 現状の渋滞解消やそれに伴う医療圏域の拡大等、効果は大きい。
- 4車線の端部となる真野ICと琵琶湖大橋、現道161号を結ぶ道路も併せて整備するべき。
- 京都市内の宿泊施設が不足していることや、温泉文化に触れることなどから、雄琴温泉への外国人旅行者が増えてきており、インバウンド観光の面からも湖西道路の4車化の意義は大きい。

【一般国道312号 大宮峰山道路】

- この道路は地域が抱える渋滞や事故の解消といった役割と、大きなネットワークとして日本海側の国土軸を形成するという2つの役割を担っており、災害時のリダンダンシーを確保する上でも非常に重要。
- 丹後地域も他の地域と同様、医療過疎化の問題を抱えており、医療アクセスの効果もある。

【その他全般】

- 5*₀や7*₀の短スパンではなく、長スパンで事業化すべき。短スパンでの整備ではネットワークとしての効用をなかなか実現できない。
- 災害時に医療チームなどの救援・救急部隊が現場に迅速に到着するため、地震時に段差ができないような工夫を施工時にしてもらいたい。

□結論

一般国道158号（中部縦貫自動車道）大野油坂道路（大野・大野東区間）
一般国道161号 湖西道路（真野～坂本北）
一般国道312号 大宮峰山道路
の新規事業化については妥当である。